



「第19回全国児童生徒地図優秀作品展」大臣賞表彰式（大臣応接室）

## CONTENTS

1. 「第19回全国児童生徒地図優秀作品展」大臣賞表彰式を実施 ..... 2
2. 第13回北海道測量技術講演会の開催 ..... 3
3. バングラデシュ測量局 JICA技術協力プロジェクトの状況と展望 ..... 4
4. 第17回測量行政懇談会の開催 ..... 6
5. ギャラリー展「地図と私たち」の開催 ..... 7
6. 1月の報道発表・3月の主な行事予定 ..... 7

### 表紙写真

左から国土交通大臣賞受賞 沖野教頭先生（熊谷彩さんの代理）  
石井国土交通大臣、文部科学大臣賞受賞 山口愛加さん

## 「第19回全国児童生徒地図優秀作品展」大臣賞表彰式を実施

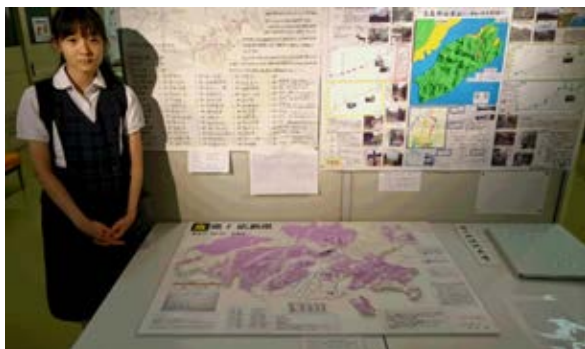
1月14日、国土交通大臣応接室において「第19回全国児童生徒地図優秀作品展」大臣賞の表彰式を行いました。

「全国児童生徒地図優秀作品展」（主催：全国児童生徒地図作品展連絡協議会）は、全国17地区の児童生徒地図作品展の作品の中から推薦された優秀作品を一堂に集めて開催しています。これらの優秀作品の中から特に優れた作品に対して「国土交通大臣賞」、「文部科学大臣賞」を授与しており、1月14日に表彰式を行い石井国土交通大臣より表彰状と記念品が授与されました。

国土交通大臣賞は、広島市立大州中学校3年 熊谷彩さん、文部科学大臣賞は、岐阜県立大垣北高等学校2年 山口愛加さんが受賞しました。（※）

### ●国土交通大臣賞

「危県！広島県 県内ワーストワン広島市！」  
広島市立大州中学校3年 熊谷<sup>くまがい</sup>彩<sup>あや</sup>さん



### ●文部科学大臣賞

「長野県 神城断層地震～立体地図で活断層を見る～」  
岐阜県立大垣北高等学校2年 山口<sup>やまぐち</sup>愛加<sup>あい か</sup>さん



表彰式では、表彰状授与と記念撮影のあと、小山全国児童生徒地図作品展連絡協議会長から今回の受賞作品の紹介と、それぞれ受賞者から石井大臣へ作品の説明が行われました。石井大臣は受賞作品の完成度の高さに感心し、受賞者に対し作成にあたって苦労した点や作成にかかった時間などの質問がありました。



石井大臣に熊谷さんの作品を紹介する沖野教頭先生



石井大臣に作品を紹介する山口さん

また、全国児童生徒地図作品展連絡協議会では、大臣賞の他に審査員特別賞1作品、奨励賞13作品を選出し受賞者へ伝達しました。

### ●審査員特別賞

「防災ラジオ MAP」  
立命館小学校5年 平野<sup>ひらの</sup>通永<sup>みちなが</sup>さん

※国土交通大臣賞を受賞された熊谷さんは、当日、欠席のため代理として同校の沖野教頭先生が出席されました。

過去の「全国児童生徒地図優秀作品展」の作品は、以下の URL でご覧いただけます。

<http://www.gsi.go.jp/MUSEUM/sakuhin.html>

（総務部）

## 第13回北海道測量技術講演会の開催

北海道地方測量部では、（公社）日本測量協会北海道支部と共催で、1月28日に札幌第一合同庁舎講堂において、第13回北海道測量技術講演会を開催しました。講演会には国、地方公共団体、民間等の関係機関から175名の参加があり、道内における関心の高さがうかがえました。

今回の講演会では、昨年春に地方測量部が災害対策基本法の指定地方行政機関となったこと等を受け、「防災・減災に向けた地理空間情報の活用社会へ」をテーマとして、口永良部島、箱根山など頻発する火山噴火や昨年9月の関東・東北豪雨における地理空間情報の防災・減災への利活用やそれを支援するための国土地理院の最新の取り組みを紹介しました。



講演会会場の様子

講演は、最初に国土地理院越智院長より、国土地理院の重点取り組みである「G（技術）・K（広報）・K（教育）」について、さらに広報活動強化のためのリーディングプロジェクトについて紹介しました。また、近年発生した自然災害での国土地理院の対応の報告と、統合災害情報システム（DiMAPS）や地理院地図についても紹介しました。



越智院長の講演

続いて、北海道大学大学院村上教授から、北海道内には活動が活発な火山が多く存在していることから、火山活動のメカニズム解明や、火山の活動を予測するために様々な観測技術により実施されている火山観測の現状などを含め、北海道の火山の最新動向について講演いただきました。

次に北海道谷内危機対策課長から、北海道地域防災計画の概要と当該計画に基づく北海道の防災・減災に関する取組事例や防災教育について紹介いただきました。

最後に和田測地部宇宙測地課長より、宇宙航空研究開発機構（JAXA）が平成26年5月に打ち上げた「だいち2号」のデータを用いて、平時から国土のあらゆる場所で、将来の災害に結びつく可能性がある地表の変動の発見とその情報提供を目的とした全国地盤変動図の公開に関する取り組みを紹介しました。

一方、会場ロビーでは、講演に関連した情報提供として、平成27年度の電子国土賞、防災アプリ、Geo アクティビティフェスタ等に関する紹介パネル展示、PC モニターやタブレット端末を用いた地理院地図の紹介、さらに、3D 模型（有珠山）によるプロジェクションマッピングを展示しました。



パネル展示等

講演会の詳細は以下の URL でご覧いただけます。

<http://www.gsi.go.jp/hokkaido/topics-topics.html#160128>

（北海道地方測量部）

## バングラデシュ測量局 JICA技術協力プロジェクトの状況と展望

国土地理院では、国際協力機構（JICA）長期専門家として2015年8月から2016年12月までの予定で、浦部国土交通技官をバングラデシュ測量局へ派遣しています。この派遣先での JICA 技術協力プロジェクトの状況と展望についての報告です。

国土地理院は、国際協力機構（JICA）を通して、バングラデシュの国家測量機関であるバングラデシュ測量局に対し、20年以上にわたり技術協力を続けています。験潮場や測地基準点網の設置に始まりデジタル写真測量による地形図整備に至る一連の技術協力プロジェクトにおいて、これまでアドバイザーとして派遣された代々の国土地理院職員の地道な指導が実り、現在ではバングラデシュ測量局がほぼ自力で基準点網の維持管理や地図作成全工程を遂行できるようになっています。2009 年から始まった全国土の 2 万 5 千分の 1 地形図および主要 6 都市の 5 千分の 1 地形図の整備完了がようやく残り数年の視野に入り、その成果を政策や産業に活かすべく、普及啓発、活用促進を目指す活動が進められています。

また、日本で多くの実績と知見が蓄積されている GNSS 連続観測点網の配備や国家地理空間情報基盤（NSDI）の整備に高い関心が示されており、今後のさらなる支援に期待がかけられています。

### ●デジタル地形図整備事業

バングラデシュには、実用に耐える正確な地図はまだ整備できていません。バングラデシュ測量局は、イギリス植民地時代に測量された 5 万分の 1 地形図をほぼそと更新してきました。この地図の利用には軍事上の制約があり、一般国民はもとより政府機関でも自由に使える状況にありません。インフラ整備、都市計画、防災などの政策も、観光、流通などの産業も、国土全体の状況を把握できないまま必要最小限の調査をもとに実施されています。

バングラデシュ測量局は、日本の技術協力とそれに伴う設備投資を得て、2009 年から全国のデジタル地形図整備に着手しました。



測量局庁舎に設置された  
JICA プロジェクトの看板



日本の資金協力で完成した  
測量局デジタルマッピングセンター



デジタル図化作業風景  
デジタル図化機 50 台、GIS ワークステーション 100 台、データサーバーなどを備える

その成果の仕様は以下のとおりで、全体の進捗率はおよそ7割といったところです。この成果を利用したウェブ地図ポータルサイトを構築し、バングラデシュ版「地理院地図」として公開する準備が進められています。

#### デジタル地図成果仕様

- 2万5千分の1地形図（図参照）  
14万4千km<sup>2</sup>、988面
- 5千分の1地形図  
主要6都市約250面
- デジタルオルソ写真・DEM  
地上解像度50cm、都市部は25cm
- 地理情報ベクトルデータ  
地形、植生、交通、建物、地名など全133レイヤ

#### ●国家地理空間情報基盤（NSDI）構想

目下、バングラデシュ政府は「デジタル・バングラデシュ政策」を掲げ、IT技術による行政事務の効率化と行政サービスの利便性向上を推進しています。その実現にまず必要となる情報インフラとして、バングラデシュ測量局が整備する地理情報ベクトルデータを基盤とし、道路局、首都開発局、地方行政局など公共事業を担う行政官庁や、防災関連、教育関連など幅広い機関の保有する地理空間情報を統合、相互活用しつつ、事業を計画立案し遂行するためのNSDIの導入に関心が高

まっています。セミナーなどを通して関係機関に有用性を訴え、啓発に努めるとともに、来年度内に小規模なプロトタイプシステムを導入し、関心の高い機関とともに検証を行う計画です。

#### ●GNSS 連続観測点網整備プロジェクト

昨年4月のネパール地震、今年1月のインド北東部の地震では、バングラデシュ国内でも多くの被害が出ました。多くのバングラデシュ人にとって地震は全く未知の予期し得ない現象で、物理的被害よりもパニックによる被害の方が重大になりがちです。むやみに恐れることなく防災に努めるためにも、地殻変動を観測することにより科学的なメカニズムを知ることが必要です。現在国内にはGNSS連続観測点が6点しかなく、定常観測体制も不十分で、上述の地震前後の地殻変動も検知することができませんでした。バングラデシュ測量局はこのGNSS連続観測点網を拡充し、全国に70点を新規に設置するプロジェクトを立案して、日本政府に資金協力を求めています。バングラデシュでは、日本の質の高いインフラであるGNSS連続観測点網の導入実現の期待が高まっています。

GNSS連続観測点の整備は地殻変動観測だけでなく、急務となっている地籍測量の推進や公共測量の効率化に大きく寄与することが期待されています。

（企画部）



図 整備中の2万5千分の1地形図

## 第17回測量行政懇談会の開催

1月22日、国土地理院関東地方測量部（東京都千代田区）において、第17回測量行政懇談会が開催されました。

測量行政懇談会は、国土地理院長の私的諮問機関として、国土地理院が所掌する測量行政の的確な推進に資するために、院長の諮問に応じて測量行政に関する重要事項を調査検討するとともに、重要事項に関し、院長に意見を述べるために設置された機関です。



測量行政懇談会の様子

今回の会議から、事前登録により、報道あるいは測量関係者を含む一般の方等、どなたでも傍聴ができるようになりました。

懇談会は清水英範委員長（東京大学大学院教授）による進行の下、まず平成26年9月に、同懇談会下に設置された「測量技術者育成検討部会」での検討結果が、鹿田正昭部会長（金沢工業大学教授）より報告されました。この測量技術者育成部会は、約1年強にわたり、測量技術者、特に女性や若年者の測量技術者を計画的に確保・育成する観点から、技術者を取り巻く情勢や課題を整理し、これらに対応する方策について検討されました。その結果、国土地理院に対し、「広報の強化」、「インターンシップの導入促進」、「地理空間情報リテラシー向上」、「測量技術者の技術力向上」、「試験問題の適切な改正」、「必要な法令等の改正」、「測量技術者の将来像の検討」の7つの提言がされました。

続いて事務局より、国土地理院の最近の取り組みとして、3つの観点（G（技術）・K（広報）・K（教育））について整理した最近のトピックと、地図と測量の社会や経済にもたらす効果の検討に

ついて、報告を行いました。

最後に、1月18日に開催された第14回基本政策部会について、須貝俊彦部会長（東京大学大学院教授）より報告がありました。基本政策部会では、現行の地理空間情報活用推進基本計画が平成28年度に計画期間の最終年度を迎えることから、平成28年度中の次期地理空間情報活用推進基本計画の策定に向けて、測量行政関連分野からの基本的な考え方を検討し、取りまとめられます。

議事終了後、懇談会で了承された「測量技術者育成検討部会報告書」は、清水英範委員長より、「測量行政懇談会報告書 ～国土を測り未来を創る測量技術者の確保を目指して～」として国土地理院長に手渡され、閉会しました。



清水英範委員長(左)から国土地理院越智院長(右)に報告書が手渡された様子

（総務部・企画部）

## ギャラリー展「地図と私たち」の開催

国土地理院「地図と測量の科学館」では、3月15日（火）から9月4日（日）まで、ギャラリー展「地図と私たち」を開催します。

「地図」は、文字よりも昔から使われていたと考えられており、今、私たちのまわりには、いろいろな種類のたくさんの地図があふれ、私たちの生活に欠かすことができない便利な道具となっています。

本ギャラリー展を通じて、地図や測量にさらに親しみや興味を持っていただければ幸いです。

### <主な展示内容>

#### ■地図を広げてみよう

- ・地図で広がる世界
- ・地球上の位置を表す
- ・日本列島の位置と高さを測量で求める

#### ■地図をもっと知る

- ・地図はどのようにしてつくるの
- ・コンピュータで地図をつかう
- ・新時代の測量と地図
- ・大地の凸凹を地図に表す
- ・大地を小さく縮めて描く
- ・地図には記号がいっぱい

#### ■地図で土地のようすを調べる

- ・地図をもって野外を歩こう
- ・地図を防災に役立てる
- ・地図をつくってみよう



(総務部)

## 1月の報道発表

|     |                                   |                           |
|-----|-----------------------------------|---------------------------|
| 6日  | 「外国人にわかりやすい地図表現検討会報告書」がとりまとめられました | 基本図情報部                    |
| 8日  | 西之島の計測結果を公開します                    | 基本図情報部、応用地理部              |
| 12日 | 大臣賞作品を選定－「第19回全国児童生徒地図優秀作品展」－     | 総務部                       |
| 12日 | 平成27年12月の地殻変動について                 | 測地観測センター、<br>地理地殻活動研究センター |
| 15日 | 測量行政懇談会（第17回）の開催について              | 総務部                       |
| 22日 | 指名停止措置及び優良業務表彰の取消しについて            | 総務部、企画部                   |
| 26日 | 国土地理院入札監視委員会の議事概要                 | 総務部、企画部                   |

記事の内容は、国土地理院ホームページ>2016年 報道発表資料

(<http://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/press-2016.html>) をご覧ください。

## 3月の主な行事予定

|          |                |
|----------|----------------|
| 3/15～9/4 | ギャラリー展「地図と私たち」 |
| 27日      | 第57次南極地域観測隊帰国  |

国土地理院広報は、国土地理院ホームページ>広報誌>国土地理院広報(<http://www.gsi.go.jp/WNEW/koohou/index.html>)に掲載しています。

発行 国土交通省国土地理院  
Geospatial Information Authority of Japan

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番  
TEL 029-864-6255  
FAX 029-864-6441

連絡先：総務部広報広聴室  
国土地理院ホームページ  
<http://www.gsi.go.jp/>